

開園25周年記念誌

# 二十五年度の歩み

姫路城西御屋敷跡庭園

## 好古園





# 目次

1. ごあいさつ .....	1
2. 好古園の概要 .....	3
3. 九つの庭園 .....	4
4. 主な施設 .....	5
5. 好古園ができるまで .....	7
6. 25年のあゆみ .....	9
7. 入園者数及び茶室・活水軒利用者数一覧表 .....	20
8. フェニックス市との交流 .....	21
9. イベントの25年 .....	23
10. 開園25周年を迎えて .....	33
11. 開園25周年を祝して .....	34



姫路市長

石見利勝

姫路城西御屋敷跡庭園好古園が平成4年4月に開園して四半世紀が経過しました。この好古園は、世界文化遺産・国宝姫路城を借景とする西御屋敷跡に姫路市制100周年を記念して作られたもので、文化財の保全と活用を兼ねた新しい文化の場としての役割を果たす日本庭園であります。

園内は、個性ある9つの庭園群や本格的数寄屋建築による茶室などが、史跡地にふさわしい風情を醸し出し、池や水の流れ、樹木や草花などに自然を感じることもできることから、開園以来、市民をはじめ多くの観光客に親しまれています。特に近年では、外国からの来園者が顕著に増加しており、国際観光都市を目指す本市としましても、好古園の日本文化を発信する力に注目しているところでございます。

このような中で25周年を迎えることができましたのは、ひとえに市民の皆さまを始め関係各位のご尽力のたまものであると、心から感謝を申し上げます。

また、好古園では、紅葉会や観月会など季節感あふれる催しや、大人だけでなくお子さまにも楽しんでいただける体験型イベントを実施するなど、より多くの方々にお越しいただけるよう、さまざまな取り組みを進めているところでございます。

開園から25周年を迎えた好古園が、市民の庭園として、また観光スポットとして、今後も多くの皆さまの憩いと安らぎの場であり続けるようお願いいたします。

今後も、市民の皆様と共に積み重ねた25年間の経験を生かし、さらなる発展を目指して園庭やイベントの充実に努めてまいりますので、皆さまにおかれましても一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 世界遺産を守る庭

---

京都大学名誉教授

中村 <sup>まこと</sup> 一

姫路城が法隆寺と共に世界文化遺産に登録されたのは、一九九三年。その一年前に好古園は完成した。その四年ほど前から、設計は始まったのだから、文化遺産登録への準備と庭園の設計施工は、ほぼ同時期に進行していたということになる。

私はこのことを全く知らずに、市制百年の記念事業として、設計や石組みに携わった。国宝の城に隣接する史跡地の造園事業なので、緊張と名誉を感じつつ、仕事をした。

だから、姫路城が文化遺産になったときは、正直なところ驚いた。もちろん、この古城が世界的な遺産であることを知って驚いたわけではなく、新しい庭が貴重な文化遺産に相応しいか、という重い問いかけが、急に一段と重くなったのに驚いたのであった。

今から思うと、当時の姫路市長、戸谷松司さんは、当然、このことを知っておられた筈である。だからこそ、人一倍、名城と好古園の調和を案じられていたのだろう。完成後もたびたび園に来られて、見回っておられた、と庭園事務所の方から聞いたことがある。

四半世紀という時が過ぎても、戸谷さんの心配が薄れることはない。庭園や公園は普通三十年に一度は大修理をする必要がある。好古園もその時期に来ているのは確かである。

世界文化遺産を守る一翼として、この庭がいつまでも貢献しつづけることを心から願う。

# 好古園の概要・九つの庭園

## 姫路城を借景にした、池泉回遊式日本庭園

姫路城西御屋敷跡庭園「好古園」は、世界文化遺産国宝姫路城を借景に、姫路市制100周年を記念して造営され、平成4年に開園した池泉回遊式の日本庭園です。昭和60年からの発掘調査で確認された西御屋敷跡・武家屋敷跡等の地割りを活かした9つの趣の異なった庭園群で構成され、その面積は約1万坪（3.5ha）あります。

西御屋敷跡に造られた「御屋敷の庭」、本格的数寄屋建築の茶室・双樹庵のある「茶の庭」、

姫路城の眺めを取り入れた「流れの平庭」・「夏木の庭」・「築山池泉の庭」等の庭園群と江戸時代を偲ばせる築地塀・長屋門・渡り廊下により特別史跡地に相応しい歴史的景観を創り出しています。

「好古園」の愛称は、姫路藩主酒井家によってこの庭園の入り口付近に移設され、文武両道の振興を図った藩校「好古堂」に因んでいます。

## 好古園の九つの庭





### 1. 御屋敷の庭

姫山原始林を借景とした池泉式回遊庭園で、瀬戸内海をイメージした大池には錦鯉が彩りを添えています。



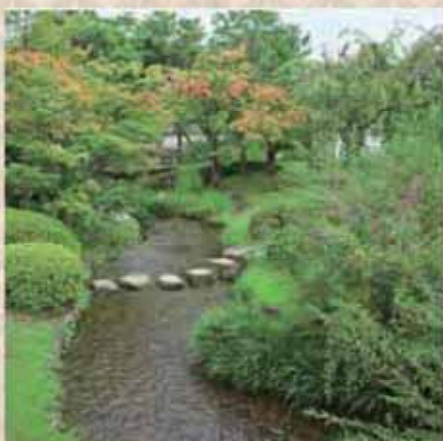
### 2. 苗の庭

江戸時代に栽培された園芸植物を育成する庭です。



### 3. 茶の庭

茶室「双樹庵」を中心とした本格的な茶庭です。



### 4. 流れの平庭

水の流れがゆったりとした岸辺に四阿（あずまや）「流翠亭」が建つ、明るく伸びやかな庭園です。



### 5. 夏木の庭

夏木（落葉樹）ばかりを配した庭園で、四阿（あずまや）「鷺望亭」から姫路城を望めます。



### 6. 松の庭

瀬戸内地方の代表的なアカマツ林をイメージした庭園です。



### 7. 花の庭

江戸時代に親しまれた山野草を植栽した庭園で、四阿（あずまや）「花笠亭」を配しています。



### 8. 築山池泉の庭

池を中心にモミジやクロマツが映える典型的な日本庭園で、池上にせり出した茅葺四阿（かやぶきあずまや）「臨泉亭」が風情を漂わせています。



### 9. 竹の庭

15種類の竹類を植栽した庭園で、中央に八角の和傘をイメージした四阿（あずまや）「閑竹亭」を配しています。

# 好古園の主な施設



## 各施設名称

1. 屋敷門
2. 築地塀 (ついじべい)
3. 活水軒 (かつすいけん)
4. 渡り廊下
5. 潮音齋 (ちようおんさい)
6. 双樹庵 (そうじゅあん)
7. 武者だまり
8. 流翠亭 (りゅうすいてい)
9. 鷺望亭 (ろぼうてい)
10. 長屋門
11. 花笠亭 (かりがさてい)
12. 臨泉亭 (りんせんてい)
13. 間竹亭 (まんとくてい)

### 1. 屋敷門



### 2. 築地塀



鉄筋コンクリート中空ブロック造  
生野石野面積み  
白漆喰仕上げ、土塀仕上げ、白漆喰仕上げと土塀仕上げを組合わせた仕上げ、の3種類で構成

### 3. 活水軒 (食堂棟) = 御屋敷の庭



木造瓦葺平屋建 323㎡  
展示ホール・食堂・回廊  
主材/吉野産檜  
壁/漆喰塗り  
屋根/いぶし銀棧瓦葺

### 4. 渡り廊下 = 御屋敷の庭



木造瓦葺平屋建 62㎡  
総檜造り  
中央の曲線は「唐傘割工法」による  
主材/吉野産檜  
屋根/いぶし銀棧瓦葺

### 5. 潮音齋 (休憩所) = 御屋敷の庭



木造瓦葺平屋建 278㎡  
和室15畳、12畳、応接室、ホール、庭観台  
主材/吉野産檜  
壁/漆喰塗り



屋根/いぶし銀棧瓦葺  
違い棚/檜拭き漆塗り  
火燈窓/尾州檜黒呂色漆塗り  
竹の節欄間/尾州檜  
襖引手/源氏車  
天井板/秋田空目杉

## 6. 双樹庵 (茶室) = 茶の庭



裏千家15代前家元千玄室大宗匠の設計、監修による茶室  
茶室広間 (八畳、次の間六畳付き)、四畳半、玄関、取次・中次、待合、廊下、小間「三疊台目」、トイレ、腰掛待合  
木造瓦葺平屋建 250㎡

主材/赤松四方柱、北山天然紋丸太杉桎  
赤松皮付丸太  
母屋、トイレ屋根/面取り瓦葺  
小間屋根/檜皮葺  
渡り廊下屋根 銅板一文字葺  
腰掛待合 2.69㎡  
屋根/柿葺 (赤杉)  
天井/杉桎底目、杉桎竿縁、杉笹木竿縁、杉木竿縁他



1. 双樹庵 外観
2. 双樹庵 本席
3. 三疊台目 外観
4. 三疊台目

## 7. 武者だまり



## 8. 流翠亭 = 流れの平庭



木造銅板葺  
主材/米ヒバ  
屋根/銅板一文字葺方形屋根

## 9. 鷺望亭 = 夏木の庭



木造瓦葺  
主材/吉野産檜磨き丸太  
壁/聚楽壁  
屋根/いぶし銀棧瓦葺

## 10. 長屋門 = 松の庭



木造瓦葺平屋建 42㎡  
主材/米ヒバ  
壁/漆喰塗り  
屋根/いぶし銀棧瓦葺

## 11. 花笠亭 = 花の庭



木造銅板葺  
形状/傘型  
主材/米ヒバ  
屋根/銅板一文字葺方形屋根

## 12. 臨泉亭 = 曼山池泉の庭



木造茅葺  
主材/吉野産檜磨き丸太  
壁/中塗り仕上げ  
屋根/茅葺

## 13. 間竹亭 = 竹の庭



木造銅板葺  
主材/吉野産檜  
屋根/銅板一文字葺八方形屋根



# 好古園ができるまで

## 図で見る好古園の歴史



姫路侍屋敷図（文化13年（1816）以前）

調査で、西御屋敷や武家屋敷、通路跡等の遺構が確認されました。これは酒井家時代の「姫路侍屋敷図」に記されたものとはほぼ合致しています。

### 明治・大正・昭和初期

明治維新の後、明治政府によって全国城郭の存廃が定められ、姫路城は存置されることとなりました。

一方、軍備拡張にともない、明治期から姫路城周辺に練兵場や兵舎、官庁などの陸軍関連施設が設置されました。これにより姫路城周辺は全国屈指の軍都となり、太平洋戦争が終結するまで続きました。

武家屋敷があった姫路城西側には、歩兵第39連隊が設置されました。

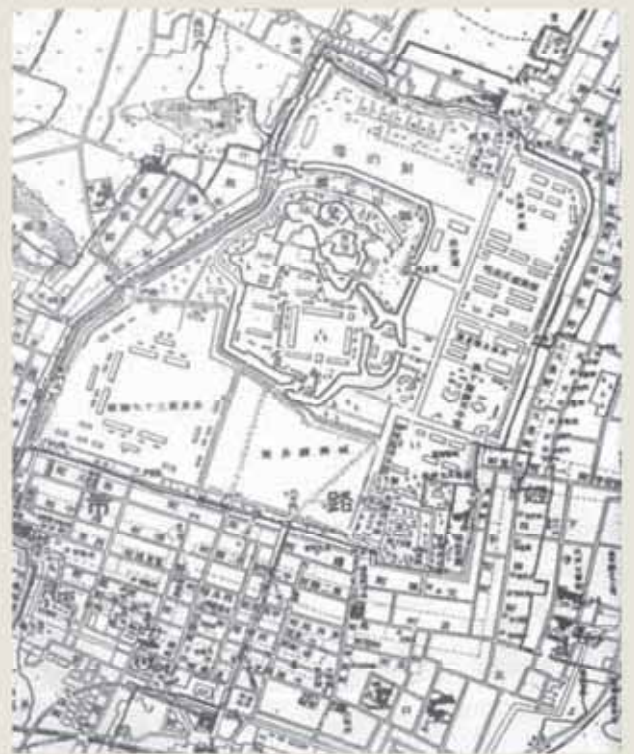
昭和3年には、姫路城一帯が史蹟に指定され、昭和31年には特別史跡地として指定されました。

### 江戸時代

好古園の敷地北側には、元和4年（1618年）に本多忠政が造営した、側室のための西御屋敷が存在し、立派な御庭もあったとされています。後の城主・榊原政岑は江戸吉原の遊女高尾太夫を落籍し、西御屋敷に住ませたと伝わっており、8代将軍吉宗の怒りを買って、榊原家は姫路から越前高田に転封されました。

西御屋敷の南側、現在の好古園南側と大手前駐車場がある区域には、侍屋敷（武家屋敷）が連なっていました。

好古園整備に先立つ7次にわたる発掘



大正初期の城周辺地図

## ■ 第二次世界大戦後

太平洋戦争終戦後の混乱期に、陸軍が使用していた城南練兵場跡や39連隊跡などに、住宅や店舗が建設されました。好古園の敷地には、国鉄（現在のJR）の宿舎や保育所などが建設されていました。

一方、急激な経済成長や市民ニーズの変化に伴い、全国的に個性ある地方都市が求められる「地方都市の時代」と言われるようになりました。そうした中で、昭和44年に特別史跡地の整備



昭和41年(1966)頃の航空写真

管理方針が定められ、姫路城跡内の施設の移転や整備が進められました。また昭和61年に特別史跡姫路城跡整備基本構想が策定され、特別史跡地とその周辺の整備について具体的な構想が示されました。その中で、かつて西御屋敷や武家屋敷があった地区に記念庭園を整備することが示され、施設の移転と庭園の建設が進められました。そして平成4年に「姫路城西御屋敷跡庭園 好古園」としてオープンしました。

## ■ 好古園の工事から完成まで

昭和60年(1985年)	10月	「整備基本構想」の策定
平成元年(1989年)	6月	「基本設計・実施設計」実施
	11月	基盤造成工事に着手
平成4年(1992年)	3月	庭園整備工事完工
	4月5日	好古園完成式
	4月29日	好古園オープン



平成2年10月 着工前



平成3年9月 進捗中



平成4年3月 完成



好古園完工

# 二十五年のあゆみ

平成4年  
(1992年)

3月

庭園整備工事完工

4月5日

好古園完成式



完成式テープカット

4月29日

好古園オープン 約3,800人来園・双樹庵オープン

5月

入園者5万人突破

7月

入園者10万人突破

8月

作家 司馬遼太郎氏来園

9月

姫路城との共通入場券販売開始

10月

紀宮清子内親王御来園



テープカット

11月

入園者20万人突破

第8回都市公園コンクール施工部門で「建設大臣賞」を、  
設計部門で「建設省都市局長賞」を受賞



司馬遼太郎氏来園



紀宮様御来園

平成5年  
(1993年)

4月

### 入園者30万人突破

開園1周年記念公演「日本庭園と自然美」  
中村一 京大名誉教授（好古園設計監修者）



12月

### 姫路城が世界文化遺産に登録

平成6年  
(1994年)

1月

### 入園者50万人突破

12月

姫路城の世界文化遺産登録記念  
による記念結婚式



記念結婚式

平成7年  
(1995年)

4月

開園3年記念イベント「開園記念茶会」

6月

「大賀ハス」初めて開花  
三千年の眠りから覚めて発芽成長



大賀ハス

10月

「都市景観大賞」受賞

平成8年  
(1996年)

4月

全国で初めて「中核市」に移行

7月

「吹き語りアイデア尺八演奏会」を開催

8月

“お城祭り”で沢口靖子さん来園

10月

### 入園者100万人突破



100万人目



沢口靖子さん来園

平成9年  
(1997年)

8月 放射光装置技術国際会議歓迎レセプション 開催

平成10年  
(1998年)

3月 スペイン皇太子御来園

10月 文化庁長官来園



スペイン皇太子御来園



文化庁長官来園

平成11年  
(1999年)

4月 姫路城献茶 添茶会として、茶室「双樹庵」で開催

6月 双樹せんべい 販売開始

11月 入園者150万人突破



入園者150万人突破

11月 「姫路藩窯東山焼展示会」を開催

平成12年  
(2000年)

10月

暴れん坊将軍 撮影



暴れん坊将軍撮影風景

12月

姫路城築城400年記念

「巷談やっことっちゃぁ……うんとな姫路城物語」撮影



姫路城物語撮影風景

平成13年  
(2001年)

9月

松竹京都映画(株)

「壬生義士伝」撮影

平成14年  
(2002年)

4月

開園10年記念式典開催

5月

開園10周年記念イベント「吟詠と大茶会」



記念式典(活水軒)



記念イベント 吟詠と大茶会

5月

ICFA 第24回次世代光源に関する国際会議  
歓迎レセプション開催

10月

TBS「水戸黄門」撮影

平成15年  
(2003年)

3月

フジテレビ「大奥」撮影

4月

入園者200万人突破

6月

大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」撮影



入園者200万人突破

平成16年  
(2004年)

8月

東映(株)「忠臣蔵」「大奥」撮影

12月

「古市公威博士生誕150年記念展」開催



古市公威博士生誕150年記念展

平成17年  
(2005年)

6月

ザ・祭りプレイベント

築地塀に切り絵を投影した「創作影絵展」開催



創作影絵展

12月

「大岡越前」撮影



大岡越前撮影風景

平成18年  
(2006年)

8月

テレビ朝日「信長の棺」撮影

10月

女流王位戦第2局 好古園で対戦

平成19年  
(2007年)

4月

開園15周年記念イベント

「好古園15周年記念茶会・記念講演会」「好古園15年のあゆみ展」



好古園開園15周年記念茶会



好古園開園15周年記念講演会（文学館）



好古園15年のあゆみ展

8月

NHKハイビジョン「司馬遼太郎と城を歩く」撮影

10月

テレビ朝日「敵は本能寺にあり」撮影

10月

好古園で佐賀県伊万里市より姫路市長へ  
鍋島焼「献上の儀」



鍋島焼「献上の儀」



平成20年  
(2008年)

2月 テレビ朝日「徳川家康と3人の女」撮影

4月 「姫路菓子博 2008」開催

6月 好古園に「かるがも親子」

9月 入園者300万人突破

9月 テレビ東京「寧々～おんな太閤記」撮影



かるがも親子



入園者300万人突破



寧々～おんな太閤記 撮影風景

平成21年  
(2009年)

4月 「いけばな特別展」開催



いけばな特別展

4月 ワーナー・ブラザーズ「TAJOMARU」撮影

11月 表千家同門会全国大会

12月 NHK「新春吟詠 春を待つ」撮影

平成22年  
(2010年)

8月

姫路城大天守保存修理始まる

10月

入園者350万人突破



入園者350万人突破

平成23年  
(2011年)

3月

姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」オープン

5月

関西テレビ「よ～いドン！」撮影

9月

ワーナー・ブラザーズ「るろうに剣心」撮影



映画「るろうに剣心」撮影風景

平成24年  
(2012年)

4月

好古園茶室「双樹庵」利用者  
50万人突破



双樹庵利用者50万人突破

4月

開園20周年イベント  
「好古園開園20周年記念茶会・記念講演会」



好古園開園20周年記念茶会



好古園開園20周年記念講演会

5月

かるがも親子愛らしく  
好古園4年ぶり子育て



かるがも親子

平成25年  
(2013年)

5月

東映「幕末高校生」撮影

9月

ワーナー・ブラザーズ  
「るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編」撮影

平成26年  
(2014年)

11月

入園者400万人突破



入園者400万人突破

平成27年  
(2015年)

3月

姫路城グランドオープン

平成28年  
(2016年)

3月

双樹庵利用者60万人突破

3月

好古園年間利用者数50万人突破

4月

フェニックス市鷲鳳園と  
友好交流協定締結



友好交流協定締結記念植樹

9月

東宝「関ヶ原」撮影



映画「関ヶ原」撮影

平成29年  
(2017年)

2月

大池にコイ放流



大池にコイ放流

3月

入園者500万人突破

4月

フェニックス市鷺鳳園と  
姉妹庭園協定締結



姉妹庭園協定締結

4月

開園25周年イベント  
「好古園開園25周年記念茶会・記念講演会」



好古園開園25周年記念茶会



好古園開園25周年記念講演会

# 入園者数及び茶室・活水軒利用者数一覧表



姫路城大天守  
平成の大修理

# フェニックス市との交流

Relationship between Rohoen(Phoenix) and Kokoen(Himeji)

## フェニックス市(アメリカ合衆国・アリゾナ州)・鷺鳳園ろほうえんと 姫路市・好古園の関係



昭和41年(1976年)11月 フェニックス市・姫路市が姉妹都市協定締結

昭和62年(1987年)12月 フェニックス市のマーガレット・T・ハンス公園近隣に、  
親善庭園の建設が計画され、姫路市の調査団と  
姫路造園建設業協会の親善庭園建設チームを派遣。

昭和63年(1988年)2月 **フェニックス市親善庭園 起工式。**

平成2年(1990年)1月 姫路市から調査団や技術指導員の派遣を  
行い、デザイン等の計画を進める。



起工式 (左・戸谷元姫路市長)

平成4年(1992年)4月 第1期工事(全体整地)着工。

平成7年(1995年)1月 計画中の日本庭園内に、姉妹都市提携20周年を記念した茶室の  
建設が決定。姫路市が茶室や庭園の建設に協力することとなる。

6月 第2期工事(茶室・露地)着工。

平成8年(1996年)7月 **第2期工事(茶室・露地)完成。**



11月

**姉妹都市提携20周年記念訪問。**

平成10年(1998年)10月



第3期工事(園路・フェンス・電気設備・駐車場)着工

平成11年(1999年)11月 フェニックス市の庭園技術者2名が  
好古園で造園技術研修を実施。



平成14年(2002年)1月

日本親善庭園「鶯鳳園」建設工事着工。

平成15年(2003年)11月

日本親善庭園「鶯鳳園」工事完了。



平成16年(2004年)1月

鶯鳳園完成記念式典。

平成17年(2005年)9月



鶯鳳園関係者が技術研修ツアーで  
好古園に来園。マツの剪定、  
垣根の修復等の実習。

平成22年(2010年)6月

フェニックス市日本親善庭園委員会訪問団 好古園視察

8月

フェニックス市長 好古園視察

平成25年(2013年)10月

鶯鳳園関係者 好古園視察

11月

好古園・姫路造園建設業協会より  
技術指導のため鶯鳳園訪問



平成28年(2016年)4月

鶯鳳園・好古園が友好交流協定を締結。好古園に記念植樹を実施。

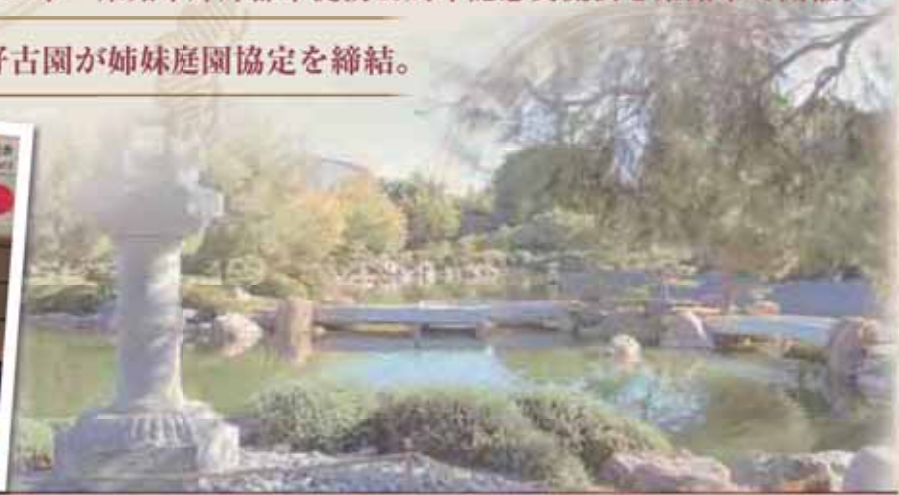
11月



フェニックス市・姫路市姉妹都市提携  
40周年記念行事を鶯鳳園で開催。  
好古園・姫路造園建設業協会による  
技術指導を実施。鶯鳳園に記念植樹を実施。

平成29年(2017年)4月

フェニックス市・姫路市姉妹都市提携40周年記念交流会を姫路市で開催。  
鶯鳳園・好古園が姉妹庭園協定を締結。





# イベントの二十五年

## 夜桜会(平成9年度～)

園内の桜などを日暮れとともにライトアップします。



## 大茶の湯(平成4年度～)

どなたでも気軽にお茶を楽しめるお茶会。春と秋に開催します。



## 開園記念日 山野草プレゼント(平成5年度～)

開園記念日(4月29日)にあわせ、園内で育成した山野草の苗をプレゼントします。



かんげつかい  
**観月会**(平成4年度～)

中秋の名月にあわせ、庭園をライトアップするほか、演奏会や月見茶会を開催します。



もみじえ  
**紅葉会**(平成10年度～)

紅葉した木々を日暮れとともにライトアップするほか、演奏会も開催します。



**フォトコンテスト入賞作品展**  
(平成4年度～)

園内の四季折々を表現した作品を募集し、応募作品の中から入賞作品を展示します。



**俳句優秀作品展**(平成5年度～)

園内の情景を詠んだ俳句を募集し、優秀作品を色紙や短冊に浄書したものを展示します。



## ■ 梅花展(平成10年度～)

様々な品種の梅の盆栽や、深紅や白などの梅が園内各所で観賞できます。



## ■ いけばな展(平成4年度～)

伝統的な華道から近代的な華道まで姫路茶華道会の力作を展示します。



## ■ <sup>せんが</sup>剪画展(平成17年度～)

園内の風景や草花を剪画により、うちわなどにデザインし展示します。



## 好古園四季の写真展(平成15年度～)

好古園の四季の写真を展示し、来園時とは違った美しさを展示します。



## ミニ着物展(平成19年度～)

インテリアとして仕立て直したミニチュアサイズの着物を展示します。



## 押絵と人形展(平成21年度～)

布細工の一種である押絵羽子板や人形などを展示します。



## 四季を飾る押し花絵展(平成22年度～)

四季折々の植物を押し花にし、そのまま絵画のようにし、ひとつの絵にした「押し花絵額」を展示します。



## 雑草いけばな展(平成17年度～)

雑草の持つ自然の美しさを表現する生け花を展示します。



## 姫路市花サギ草展(平成6年度)



## 夏の山野草展 山野草盆栽展

(平成5~9年度)



## 日本庭園の素材展 (平成14~19年度)

日本庭園を構成している素材をテーマに、写真と解説パネルを展示



## ホタル観賞会

ホタルの夕べ (平成5~23年度)

初夏の夕闇の中、ホタルの光が庭を彩ります。



## おもと 万年青展(平成13年度)

江戸時代にさかんに栽培されていた古典園芸植物を展示。



## ■ 清水公照作品展 (平成11・12年度)

おおらかで慈愛に満ちた作品の数々を展示。



## ■ ろうけつ染め作品展 (平成17年度)

溶かしたろうを筆に含ませ、真っ白な布に模様を描く。十色近い染料を重ね塗りするろうけつ染めを展示。



## ■ ちりめん細工の傘飾り (平成19年度)



## ■ 好古園能面展 (平成19・25年度)



## ■ 子どもたちの晴着展 (平成20年度)

宮参りや節句などの折に子供たちの無事な成長と幸福を願って作られた晴れ着や守り袋、布製のおもちゃを展示。



## ■ どんぐりこま大会 (平成20～22年度)

子供たちに伝えたい自然の遊び、どんぐりこまを伝承し、自然と楽しめる大会を開催。



## ■ 創作人形展(平成23年度～)

個性豊かな表情で懐かしい情景を紙粘土と和紙で作  
り上げた人形を展示



## ■ 指頭書画展(平成23年度)

筆を使わず指で書や画をしたための作品を展示。



## ■ 吟詠(詩吟)と茶会 (平成14・20年度)



## ■ 瓦庭園と盆栽展 (平成21年度)

盆栽と瓦を庭園の素材として取り入れ、新しい感覚の庭園風景を造り、展示。



## ■ 版画作品展 (平成25年度)

好古園の風景等を題材にした版画作品を展示。



## ■ 煎茶会 (平成26年度～)

聴音齋にて煎茶道のお点前を披露。



## ■ 和紙に描く四季の絵ふみ展 (平成25年度～)

季節の題材をモチーフに、水彩絵の具で和紙に描かれた作品を展示。期間中に実演会も開催。



## ■ 藍華綴り展 (平成27年度)

古布を用いた作品を展示。



## ■ さつき展 (平成28年度～)

サツキ盆栽を展示。





# イベントの二十五年

年度	1 観月会	2 春の大茶の湯	3 秋の大茶の湯	4 フォトコンテスト入賞作品展	5 いけばな展	6 開園記念日山野草プレゼント	7 俳句優秀作品展	8 ホタル観賞会	9 夏の山野草展	10 姫路市花サキ草展	11 吹き語りアイデア尺八演奏会	12 夜桜会	13 紅葉会	14 梅花展(梅花祭)	15 清水公照作品展	16 万年青展	17 日本庭園の素材展	18 詩吟と大茶会	19 四季の写真展	20 剪画展
平成4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
年度	ろうけつ染め作品展	雑草いけばな展	三三着物展	好古園能面展	好古園15年のあゆみ展	ちりめん細工の傘飾り展	剪画羽子板展	どんぐりこま大会	子どもたちの晴着展	瓦庭園と盆栽展	押絵と人形展(押絵展)	四季を飾る押し花絵展	創作人形展	指頭書画展	和紙に描く四季の絵ふみ展	版画展	煎茶会	藍華綴り展	さつき展
平成 10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17	■																		
18		■																	
19		■	■	■	■	■	■												
20		■						■	■										
21		■	■					■		■	■								
22		■						■			■	■							
23													■	■					
24											■	■							
25				■							■				■	■			
26											■	■	■		■		■		
27											■				■		■	■	
28		■									■	■	■		■		■		■
29			■								■				■		■		■

- ※1 「好古園15周年記念茶会」として開催。講演会も実施。
- ※2 「好古園20周年記念茶会」として開催。講演会も実施。
- ※3 「好古園25周年記念茶会」として開催。講演会も実施。
- ※4 「リレーいけばな展」として開催。
- ※5 「ホタルの夕べ」として開催。
- ※6 「日本剪画美術2012秀作展」として開催。

## 開園25周年を迎えて

一般財団法人 姫路市まちづくり振興機構  
理事長 南都 彰

姫路城西御屋敷跡庭園好古園の開園25周年を心からお慶び申し上げます。

平成21年に開始された姫路城大天守の平成の大改修が完成し、平成27年のグランドオープンを契機に、好古園においても国内外からいっそう多くのお客様にご来園いただき、記念すべき25周年となる本年3月には、来園者が500万人を突破いたしました。これもひとえに関係各位の日頃のたゆまぬご尽力の賜物とご推察申し上げます。

市制百周年を記念して造営された好古園は、平成4年4月の開園から四半世紀が経ち、世界文化遺産・国宝姫路城を借景とした優美な池泉回遊式の日本庭園として、観光客をはじめ国内外からの評価も高く、中核市姫路市の歴史と文化の拠点として定着してきているものと認識しております。特に近年は海外からの来園者の比率が増加しており、姫路城と合わせて当園に対する諸外国からの関心が高まっていることが窺えます。

そうした中で、本年4月には、姫路市の姉妹都市であるアメリカ合衆国フェニックス市の日本庭園「鷺鳳園」と姉妹庭園協定を締結したところであり、今後両庭園の交流をとおして、姫路市とフェニックス市のさらなる関係強化が期待されるところであります。

当園の指定管理者である当機構は、夜桜会や観月会等の季節感あふれるイベントの企画・開催や、格調高い庭園の維持管理は勿論、秀でた観光資源としての当園の活用を通じた本市の情報発信にも、今後全力で取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、当園と姫路市のより一層の発展を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

## 開園25周年を祝して

姫路茶華道会  
会長 河島 宗康

姫路城西御屋敷跡庭園「好古園」の開園25周年おめでとうございます。

姫路地域の文化の向上発展に資することを目的に、茶道、華道の各流派が結集し、様々な活動を行っております。

開園当初から茶道各流派が双樹庵呈茶会を構成し、茶室「双樹庵」で、四季を通して日本の伝統ある着物を着て呈茶を行っております。中には、北海道から来られた男性の方が、このような立派な茶室でお点前をさせて頂きたいと帛紗等ご持参で実践された事もありました。良い思い出になりましたと感謝して帰られました。

また、春と秋には大茶会を開催し、茶文化の普及向上にも努めて参りました。市民をはじめ、国内外からの多くの来園者に親しまれ、双樹庵は60万人以上に利用されてきました。

さらに華道におきましても、毎年15流派が一堂に揃って「いけばな展」を開催し、日本の伝統文化である花の心や見る人の心をうつ自然美の表現などを感じていただき、好古園を訪れる方々にやすらぎと心の豊かさを提供してまいりました。

世界遺産 国宝姫路城とともに、姫路市の代表的な観光拠点の一つとして今後益々ご発展されますようお願い申し上げます、お祝の言葉といたします。

## MAP



## 散策コース

- 好古園→姫路城……………徒歩約5分
- 好古園→姫路文学館……………徒歩約10分
- 好古園→姫路市立美術館・県立歴史博物館……………徒歩約10分

## 交通

姫路駅からバス約5分 または 徒歩約15分

## 入園料金

		30人以上一人につき	
一般	300円	240円	
小・中学生	150円	120円	

茶室 双樹庵 一席500円 営業時間10時~16時 休園日 12月21日~1月5日

## 開園時間

9時~17時(入園は16時30分まで) ※季節により時間延長も有ります

## 休園日

12月29日・12月30日

開園25周年記念誌

姫路城西御屋敷跡庭園 好古園

**二十五年の歩み**

編集・発行

姫路城西御屋敷跡庭園 好古園  
〒670-0012 姫路市本町68番地  
TEL 079-289-4120  
FAX 079-289-4130

平成29年10月

姫路城西御屋敷跡庭園

# 好古園

